

## 2 会議及び各種委員会等活動

### (1) 公立大学協会図書館協議会 平成29年度役員会（滋賀県立大学）

#### ア 第1回拡大役員会

日 時： 平成29年6月9日（金） 10時30分～12時

場 所： ホテルアバローム紀の国 4階羽衣の間

出席者： 21大学 27名

欠席者： 2大学

議 事：

#### <報告事項>

- ① 平成28年度事業報告
- ② HP委員会報告
- ③ 地区活動報告
- ④ 関係委員会等報告
- ⑤ その他

#### <協議事項>

- ① 役員を選出について
- ② 関係委員会委員等の推薦について
- ③ 平成28年度決算報告及び監査報告
- ④ 平成29年度事業計画（案）について
- ⑤ 平成29年度予算（案）について
- ⑥ 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について
- ⑦ 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
- ⑧ 承合事項の回答結果の共有について
- ⑨ 第50回（平成30年度）総会の1日開催について
- ⑩ 公立大学協会図書館協議会入会大学について
- ⑪ その他

#### イ 第2回拡大役員会

日 時： 平成29年11月22日（水） 13時30分～16時30分

場 所： キャンパスプラザ京都 2階第2会議室

出席者： 19大学 24名

欠席者： 4大学

議 事：

#### <報告事項>

- ① 平成29年度事業報告（総会以降）

- ② HP委員会報告
- ③ 地区活動報告
- ④ 関係委員会等報告
- ⑤ その他

<協議事項>

- ① 平成30年度総会等日程(案)について
- ② 平成30年度以降の役員について
- ③ 平成30年度の関係委員会等派遣委員について
- ④ 承合事項の回答結果の共有について
- ⑤ 図書館システムの導入に関する情報の共有・蓄積について
- ⑥ 公立大学協会と本協議会との連携について
- ⑦ 当協議会ホームページの運営について
- ⑧ その他
  - ・役員会で配布する資料について
  - ・前年度繰越金について

ウ 協議事項のうち、主な審議結果

(ア) 平成30年度の関係委員会等委員について

名古屋市立大学より、国公立大学図書館協力委員会常任幹事など派遣委員を首都大学東京、横浜市立大学、名古屋市立大学、大阪府立大学、大阪市立大学の5館が主に引き受けていることについて、5大学の職員体制も変化しており、負担が大きくなっているため、いずれは仕組みを見直してほしいとの提言があった。このことについて、今後検討していくことが了承された。

(イ) 承合事項の回答結果の共有について

会長館から、『アンケート依頼についてのお願い』(平成25年10月18日通知)に従って調査を行うにあたり、調査の目的や調査結果の取り扱いについて共通理解を整理して、会員間の認識のずれを解消することが提案された。協議の結果を踏まえて『アンケート依頼についてのお願い』を補足するような形式で文案を作成した上で、加盟館にアンケート依頼について再通知を行うことが承認された。

(ウ) 図書館システムの導入に関する情報の共有・蓄積について

平成28年度総会において、公立はこだて未来大学から、OPAC・ディスカバリーサービスなど図書館システムの開発に各大学が大変な労力をかけているため、そのノウハウを各大学間で連携し情報共有の上、蓄積してはどうかとの意見があった。このことを受けて、会長館から、図書館システム、ディスカバリーサービス、機関

リポジトリごとにメーカーや機種名、導入時期などを会長館が調査し、一覧にまとめてホームページの会員専用ページで公表し、3年から5年ごとに更新することについて提案があり、今年度より調査を実施することになった。

(エ) 公立大学協会と本協議会との連携について

平成28年度に行われた会長館と公立大学協会の意見交換では、公立大学協会から、会報の保管や会費徴収事務を公大協に委託して事務が軽減される代わりに、図書館協議会の今後のあり方を前向きに検討するようとの意見をいただいた。会報の保管については、今年度、すべての会報を電子化するため、会長館が会報の実物を引き継ぐ必要はなくなる。また、会費徴収事務に関しては、公大協に業務を委託しても、会長館の口座開設や加盟館とのやり取りは無くならず、著しく事務が軽減されるわけではないと考えられる。そこで会長館より「会報の保管」および「会費徴収事務の委託」については一旦取り下げたいとの申し出があり、了承された。今後の公立大学協会との連携および当協議会の業務のあり方については別途検討していくことになった。

(オ) 当協議会ホームページの運営について

会長館から、当協議会HPに会員専用ページを設置することについて提案があり、HP委員会で議論するよう依頼があった。

これに対し、HP委員会 委員長館の大阪市立大学から、パスワードをかけて会員専用ページを作ることは可能と回答があった。またHPの運営方針はHP委員会だけで議論することではなく、役員や会員から意見を出してもらいたいとの申し出があり、あらためて役員の意見を聴取することが承認された。

(カ) 役員会で配布する資料について

会長館より、会長館業務の軽減策の一つとして、会議資料の印刷を廃止することが提案され、了承された。平成30年度の拡大役員会は冊子を作成せず、役員に事前に会議資料をメールで送付しておき、当日は各自持参するようにし、その効果を検証することになった。

(キ) 前年度繰越金について

横浜市立大学より、予算の前年度繰越金が膨らんでいることについて、早急に方策を考えるべきとの意見が出された。繰越金の増加には、協議会主催の研修会がなくなったことや、総会の1日開催による会場費の軽減などが影響している。委員からは、海外派遣研修など人材育成への活用、役員の旅費の助成、加盟館への図書寄贈などの案が挙げられた。協議の結果、一時的に会費を減額して対応することが了承

された。本会では、会費は当分の間、1割カットとし、長い時間をかけてなだらかに繰越金を解消していくことになった。については会則第19条の3の年額は改正せず、附則を追加することとし、次年度も継続して協議することとなった。

## (2) HP委員会（大阪市立大学）

### ア 委員館

(ア) 委員長館（ホームページ管理）：大阪市立大学

(イ) 委員館：首都大学東京、横浜市立大学、名古屋市立大学、大阪府立大学

### イ 概要

4月10日に前年度より準備を行っていた新ホームページを公開した。

#### <主な更新内容>

2018/02/09 規程集の更新について

2017/11/16 会報について

2017/10/16 年間スケジュールについて

2017/10/16 加盟館概要について

2017/04/10 公立大学協会図書館協議会 Web のリニューアルについて

2017/04/08 国公立大学図書館協力委員会（JULIB）の Web について

2017/04/01 公立大学協会図書館協議会会長館就任のご挨拶

### ウ 統計

期間：2017/1/1-2017/12/31（前年 2016/1/1-2016/12/31）

ユーザー数：3,166人（3,208人）

セッション数：4,683件（4,650件）

閲覧ページ合計数：17,198ページ（14,008ページ）

## (3) 国公立大学図書館協力委員会（横浜市立大学）

### ア 構成

#### (ア) 委員長館

平成28年度 筑波大学（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

平成29年度 横浜市立大学（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

#### (イ) 委員館（\*は常任幹事館）

a 国立大学 \*東京大学、\*筑波大学、京都大学、名古屋大学

- b 公立大学 \*横浜市立大学、\*大阪府立大学、首都大学東京
- c 私立大学 \*慶應義塾大学、\*早稲田大学、名城大学、東海大学、  
大阪工業大学、東洋大学

## イ 会議

### (ア) 協力委員会

#### a 第 82 回国公立大学図書館協力委員会

日時：平成 29 年 7 月 28 日（金）15 時～16 時 45 分

場所：京都大学附属図書館 4 階 大会議室

議事：

[報告事項]

会務報告など

[協議事項]

- ・ 専門委員会主査について

専門委員会主査を原案のとおり承認した。

- ・ 国際 ILL 検討タスクフォース最終報告について

平成 29 年 3 月 31 日に提出された「国際 ILL 検討タスクフォース 最終報告」について説明があり、最終報告の方向性に沿って今後の手続きを進めること、GIF プロジェクトの収束にあたっての実務的な手続きは GIF プロジェクトチームが行い、公式なカウンターパートは国公立大学図書館協力委員会委員長館が務めることが確認された。

- ・ 次期委員長館の選出について

平成 29 年度委員長館は横浜市立大学に決定した。

#### b 第 83 回国公立大学図書館協力委員会

日時：平成 29 年 12 月 8 日（金）13 時～14 時 15 分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟 1 階 会議室 A・B

議事：

[報告事項]

会務報告など

[協議事項]

- ・ 平成 28 年度決算（案）及び監査報告について

決算及び監査報告を原案どおり承認した。

- ・ 平成 29 年度予算（案）について

同予算案を原案どおり承認した。

- ・ 監事館の選出について

委員館から東海大学、委員館以外から東京工業大学が推薦され、承認された。

(イ) 常任幹事会・常任幹事館担当者打ち合わせ

a 平成 28 年度第 3 回常任幹事館担当者打ち合わせ

日時：平成 29 年 6 月 28 日（水）13 時～15 時

場所：筑波大学東京キャンパス 文京校舎 1 階 118 講義室

議事：

- ・第 82 回国公立大学図書館協力委員会の開催について
- ・専門委員会会計実査について
- ・国際 ILL 検討タスクフォース最終報告を受けた今後の進め方について
- ・「大学図書館研究」の J-Stage 移行にかかる諸課題について
- ・学術著作権協会との合意書の改定について
- ・国公立大学図書館協力委員会 Web サイトについて
- ・第 14 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議について
- ・日本図書館協会大学図書館部会について

b 平成 28 年度第 2 回常任幹事会

日時：平成 29 年 7 月 28 日（金）13 時 50 分～14 時 10 分

場所：京都大学附属図書館 4 階 応接室

議事：

- ・第 82 回国公立大学図書館協力委員会の議事について

c 平成 29 年度第 1 回常任幹事館担当者打ち合わせ

日時：平成 29 年 10 月 26 日（木）9 時 55 分～12 時

場所：横浜市立大学金沢八景キャンパス総合研究教育棟 2 階 国際交流会議室

議事：

- ・第 83 回国公立大学図書館協力委員会の開催について
- ・平成 28 年度決算報告及び監査報告書(案)について
- ・平成 29 年度予算案について
- ・平成 29 年度監事館候補について
- ・国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
- ・図書館総合展シンポジウムについて
- ・J-STAGE 上での「大学図書館研究」編集・発行について
- ・GIF プロジェクト終了に向けた検討について
- ・大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループの活動について

d 平成 29 年度第 1 回常任幹事会

日時：平成 29 年 12 月 8 日（金）11 時～11 時 20 分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス北館地下 1 階 北館会議室 3

議事：

- ・第 83 回国公立大学図書館協力委員会の議事について
- ・平成 29 年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

(㍑) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

a 第 14 回連携・協力推進会議

日時：平成 29 年 7 月 11 日（火）15 時～17 時

場所：国立情報学研究所 12 階会議室

議事：

- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・SCOAP<sup>3</sup> タスクフォースの活動について
- ・国立情報学研究所の最近の動向
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向

b 第 15 回連携・協力推進会議（予定）

日時：平成 30 年 2 月 28 日（水）15 時～17 時

場所：国立情報学研究所 12 階会議室

議事：

- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・SCOAP<sup>3</sup> タスクフォースの活動について
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向
- ・平成 29 年度教育研修事業実施報告

(㍑) 国立国会図書館関係

a 平成 29 年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日時：平成 29 年 12 月 8 日（金）15 時 30 分～17 時 45 分

場所：国立国会図書館東京本館新館 3 階大会議室

議事：

- ・基調報告

①「国立国会図書館の最近の主な取組」

国立国会図書館総務部長 田中 久徳

②「オープン化の時代の学術情報基盤と大学図書館」

千葉大学副学長・附属図書館長 竹内 比呂也

・意見交換

- (4) 国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会（産業技術大学院大学）  
国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会ワーキンググループ  
（都留文科大学、横浜市立大学）

ア 活動報告

(ア) 著作権検討委員会委員の交代

著作権検討委員会およびワーキンググループの委員に交代があった。

著作権検討委員会

関口 素子 → 佐藤 康之（慶應義塾大学）

中村 聡志 → 八木沼 小織（産業技術大学院大学）

著作権検討委員会ワーキンググループ

金藤 伴成 → 庄司 冬彦（東京大学）

匂坂 佳代子 → 富田 さわ子（筑波大学）

(イ) 活動計画

a 著作権の最新動向の調査

文化審議会著作権分科会 法制・基本問題小委員会について、WG 委員の分担により以下を傍聴し、情報収集を行う。

・平成 29 年度 第 2 回（6 月 30 日）、第 3 回（7 月 28 日）、第 4 回（10 月 20 日）

b 日本図書館協会（JLA）著作権委員会への派遣

日本図書館協会（JLA）著作権委員会に、WG から杉田茂樹委員（東京大学）を派遣している（任期は平成 29 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日まで）。

c 「大学図書館における著作権問題 Q & A」改定

著作権法改正、各種権利者団体との協議結果、大学刊行の定期刊行物に関する発行後相当期間の扱い、などに基づき追加・修正し、第 9 版を平成 29 年 10 月 6 日に発行。



d FAX 送信実績調査

学著協より、本合意の実際的な影響規模について把握しておきたいとの申し入れがあり、本委員会としても有用な情報と考えられることから調査を行う。

調査対象は、NACSIS-ILL データのうち複写分（直近 10 年間分）とし、調査項目は以下のとおり。

- ・ SPVIA が「FAX」等とされている件数及び依頼・受付館の機関種別内訳
- ・ うち、学著協管理著作物の件数及び依頼・受付館の機関種別内訳
- ・ 同じく、学著協受託 CCC 管理著作物の件数及び依頼・受付館の機関種別内訳

e ウェブサイトの活用、大学図書館からの著作権に関する質問への回答

- ・ 国公立大学図書館協力委員会ウェブサイト (<http://julib.jp>)  
国立大学図書館協会から既存の公表資料を移転  
学術著作権協会「著作権管理刊行物リスト」を四半期ごとに掲示
- ・ 大学図書館からの著作権に関する質問（現在は電子メールで対応）の受返信への活用を検討

f 著作権管理団体対応

- ・ 図書館における著作物の利用に関する当事者協議会：開催なし  
再開に向け、著作権管理団体（日本複製権センター等）との調整を行う。
- ・ 学術著作権協会との合意：一部文言修正の上、平成 29 年 3 月 5 日付で更新

イ 会議開催記録

(ア) 国公立大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ合同会議

以下のとおり開催した。

平成 29 年度第 1 回：平成 29 年 6 月 29 日（木）15 時～17 時（早稲田大学）

平成 29 年度第 2 回：平成 29 年 10 月 6 日（金）14 時～16 時（早稲田大学）

(イ) 著作権管理団体日本複製権センターとの個別協議

以下のとおり開催した。

第 1 回：平成 29 年 7 月 3 日（月）10 時～12 時（日本複製権センター）

第 2 回：平成 29 年 7 月 31 日（月）10 時～12 時 30 分（日本複製権センター）

第 3 回：平成 29 年 9 月 1 日（金）10 時～12 時 30 分（日本複製権センター）

第 4 回：平成 29 年 10 月 6 日（金）17 時～19 時（学術総合センター）

(5) 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会

(埼玉県立大学、愛知県立大学)

ア 委員名

主 査 鈴木 宏子 (一橋大学)  
事務局 杉田 茂樹 (東京大学)  
事務局 石川 一樹 (東京大学)  
事務局 山本 順也 (一橋大学)  
伊勢 幸恵 (千葉大学)  
田村 香代子 (筑波大学)  
金子 亜寿沙 (新潟大学)  
北澤 尚美 (埼玉県立大学)  
松森 隆一郎 (愛知県立大学)  
村上 孝弘 (龍谷大学)  
川崎 安子 (武庫川女子大学)  
小泉 徹 (立教大学)  
久保木 和義 (明治大学)  
湯川 亜矢 (早稲田大学)  
森嶋 桃子 (慶應義塾大学)

イ 活動状況

・第1回委員会

日 時：平成29年6月30日(金) 14:30～17:00

会 場：東京大学附属図書館

内 容：・平成28年度刊行状況について  
・J-Stage移行に伴う変更について ほか

・第2回委員会

日 時：平成29年12月15日(金) 14:30～17:00

会 場：愛知県立大学学術研究情報センター長久手キャンパス図書館

内 容：・平成29年度刊行状況について  
・J-Stageの登録方法について ほか

・第3回委員会

日 時：平成30年3月2日(金) 14:30～17:00

会 場：筑波大学附属図書館

内 容：・今後の作業方針について

(6) 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会（首都大学東京）

ア 構成

【H29. 4. 1～H29. 11. 30】

主査 熊渕 智行 東京大学附属図書館総務課長  
委員 高橋菜奈子 千葉大学附属図書館利用支援企画課長  
古野奈央子 首都大学東京学術情報基盤センター事務室 図書・学術情報係  
岡野 純子 慶應義塾大学日吉メディアセンターパブリックサービス担当課長  
本間知佐子 早稲田大学図書館総務課長

【H29. 12. 1～現在】

主査 熊渕 智行 東京大学附属図書館総務課長  
委員 高橋菜奈子 千葉大学附属図書館利用支援企画課長  
小嶋 静恵 首都大学東京学術情報基盤センター事務室 図書・学術情報係  
岡野 純子 慶應義塾大学日吉メディアセンターパブリックサービス担当課長  
本間知佐子 早稲田大学図書館総務課長

イ 活動状況

・平成29年度大学図書館シンポジウムの開催

主 催： 国公立大学図書館協力委員会・日本図書館協会大学図書館部会

開催日： 平成29年11月9日（木）13:00-17:00

会 場： 第19 回図書館総合展 第6 会場 パシフィコ横浜 アネックスホール206

参加者： 226名

テーマ： 大学図書館と学内協働 ～活動の可能性を広げるために～

講演/パネリスト：

鈴木哲也（京都大学学術出版会専務理事・編集長）、加藤諭（東北大学史料館准教授）、岡友美子（近畿大学アカデミックシアター事務室室長 兼 中央図書館事務部次長）、矢吹命大（横浜国立大学特任教員（准教授）リサーチ・アドミニストレーター）、上野友稔（電気通信大学学術情報課専門職員）、出原陽子（広島市立大学附属図書館主幹）

モデレータ： 熊渕智行 東京大学附属図書館総務課長

・第82回（平成29年7月28日）、第83回（平成29年12月8日）国公立大学図書館協力委員会において活動報告。

(7) 国公立大学図書館協力委員会 GIF プロジェクト (首都大学東京)

ア 構成【H29.4.1～現在】

主査 大西直樹 大阪大学附属図書館事務部長  
委員 相原雪乃 北海道大学附属図書館管理課長  
細川聖二 東京大学附属図書館情報管理課長  
小嶋静恵 首都大学東京学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係  
小澤ゆかり 慶應義塾大学三田メディアセンター相互協力担当主務

イ 活動状況

第 82 回国公立大学図書館協力委員会 (平成 29 年 7 月 28 日)

【平成 28 年度活動報告】

(ア) 日米 ILL/DD プロジェクト

a 「文献複写サービス」参加状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

参加機関数：日本側 171、米国等側 116

b 「現物貸借サービス」参加状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

参加機関数：日本側 96、米国等側 89

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	567	353	0	920	177	354	0	531
現物貸借	171	153	0	324	109	417	0	526
合計	738	506	0	1,244	286	771	0	1,057

(イ) 日韓 ILL/DD プロジェクト

a 参加状況 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

参加機関数：日本側 121、韓国側 333

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	35	9	0	44	2,269	1,944	0	4,213

(8) 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) (横浜市立大学、大阪府立大学)

ア 会員館 (大学, 大学共同利用機関, 省庁大学校等の図書館) 537 館

国立 87 館 公立 72 館 私立 364 館 その他 14 館 (平成 30 年 1 月 26 日現在)

## イ 運営体制

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

JUSTICE 運営委員会 委員 15 名（会員館から選出）

交渉作業部会・調査作業部会・広報作業部会 委員 30 名 協力員 5 名（会員館から選出）

JUSTICE 事務局 専任職員 3 名（会員館から出向）

## ウ 会議開催状況

### (ア) 総会

日時：平成 30 年 3 月 1 日

場所：一橋大学一橋講堂中会議場

### (イ) 運営委員会

・準備会議 平成 29 年 3 月 17 日

・第 1 回 平成 29 年 5 月 31 日

・第 2 回 平成 29 年 8 月 2 日

・第 3 回 平成 29 年 12 月 6 日

・第 4 回 平成 30 年 1 月 29 日

・第 5 回 平成 30 年 3 月 20 日

## エ 活動内容

### (ア) 出版社交渉の実施

交渉対象版元数 64 社 提案合意 56 社

合意提案書数 121 提案 224 製品 交渉回数 68 回(平成 30 年 2 月 7 日時点)

### (イ) 契約状況調査（平成 29 年度）

実施期間 平成 29 年 5 月 9 日～6 月 9 日 調査対象 533 館 回答数 529 件

### (ウ) 版元提案説明会の開催

開催日 平成 29 年 9 月 6 日～9 月 7 日

開催場所 一橋大学一橋講堂

参加機関・参加者数 194 館 314 名 参加版元 34 社 157 名

### (エ) OA2020 への対応検討

### (オ) 国内電子書籍の導入検討

(カ) 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充

(キ) 電子リソースの管理システムの共同利用

(ク) 電子リソースの長期保存とアクセス保証

(ケ) 研修会・勉強会の開催

・ JUSTICE 電子資料契約実務研修会東北地区（仙台会場）

開催日 平成 29 年 7 月 7 日

開催場所 東北大学附属図書館本館

内 容 第一部 「電子資料の有効活用のために」

第二部 電子資料契約実務事例紹介及び意見交換

参加者 26 名

・ JUSTICE 電子資料契約実務研修会 中国四国地区（広島会場）

開催日 平成 29 年 7 月 14 日

開催場所 広島大学中央図書館

内 容 第一部 「電子資料の有効活用のために」

第二部 電子資料契約実務事例紹介及び意見交換

参加者 36 名

・ 版元提案説明会開催前の勉強会

開催日 平成 29 年 9 月 6 日

開催場所 一橋大学一橋講堂

参加者 178 名

(コ) 会員向け広報誌『jusmine』の発行

No. 28～No. 31

(ク) 国際会議への派遣

・ 国際図書館コンソーシアム連合(ICOLC)の春季（北米）と秋季（欧州）の国際会議に会員館の職員を派遣。

詳細は『平成 29 年度 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告』

(<http://www.nii.ac.jp/content/justice/rules/>) を参照のこと。

(9) これからの学術情報システム構築検討委員会（公立はこだて未来大学）

ア 委員

委員長	小山 憲司	(中央大学)
委員	相原 雪乃	(北海道大学)
	佐藤 初美	(東北大学)
	米澤 誠	(京都大学)
	栗谷 禎子	(公立はこだて未来大学)
	原 修	(立教大学)
	近藤 茂生	(立命館大学)
	呑海 沙織	(筑波大学)
	佐藤 義則	(東北学院大学)
	大向 一輝	(国立情報学研究所)
	小野 亘	(国立情報学研究所)
	吉田 幸苗	(国立情報学研究所)

イ 委員会開催状況

第 17 回委員会	平成 29 年 8 月 4 日 (金)
第 18 回委員会	平成 29 年 11 月 2 日 (木)
第 19 回委員会	平成 30 年 1 月 25 日 (木)

ウ 活動内容

(ア) 「これからの学術情報システムの在り方について」に関する検討

学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動を一層推進するため、現在作業部会で取り組んでいる NACSIS-CAT/ILL の再構築および電子情報資源のデータ管理・共有を越えた学術情報システムの在り方について検討を行った。

(イ) イベントの実施

- ・学術情報基盤オープンフォーラム平成 29 年において、「これからの学術情報システムは何を目指すのか：所蔵目録から情報資源の発見とアクセスへ」と題したセッションを実施した。(参加者数合計：214 名)
- ・「これからの学術情報システムに関する意見交換会」を全国 5 会場で開催し、委員会および各作業部会から委員が登壇した。(参加者数合計：431 名)

(ウ) 各作業部会の活動

- ・電子リソースデータ共有作業部会  
電子リソース業務の管理基盤・ワークフロー構築、メタデータの体系的な整

備のための検証を実施したほか、ERDB-JP コンテンツ拡充のため、国立国会図書館やJ-Stage等からデータの収集を開始した。また国際連携推進のため、IGeLUやCCEUなど国際会議へ委員の派遣を行うなどした。

・NACSIS-CAT 検討作業部会

2020年のNACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化に関するシステム実装方針を作成したほか、図書館向け運用ガイドラインの検討、図書館システムに関するセミナーや研修会等への委員の派遣を行うなどした。

(10) オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) (神戸市立外国語大学)

ア 運営委員 (◎委員長) (H29.4.1現在)

島 文子 (北海道大学附属図書館・事務部長)

◎岡部 幸祐 (筑波大学・学術情報部長)

荘司 雅之 (早稲田大学図書館・事務部長)

鈴木 正紀 (文教大学越谷図書館・館長補佐)

熊淵 智行 (東京大学附属図書館・総務課長)

増井ゆう子 (国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター・事務室副室長)

高橋菜奈子 (千葉大学附属図書館・利用支援企画課長)

鈴木 秀樹 (京都大学附属図書館・図書館企画課長)

佐藤 翔 (同志社大学免許資格課程センター・助教)

原田 博英 (神戸市外国語大学学術情報センター・グループ長)

加川みどり (神戸松蔭女子学院大学図書館)

尾崎 文代 (鳥取大学学術情報部図書館・情報課長)

山本 和雄 (琉球大学附属図書館・事務部長)

山路 一禎 (国立情報学研究所・オープンサイエンス基盤研究センター長)

小野 亘 (国立情報学研究所・学術基盤推進部学術コンテンツ課長)

イ 活動内容

JPCOARの目的である「リポジトリを通じた知の発信システムの構築」を推進するため、今年度より徴収する会員からの会費により自立的運営を目指す。運営委員会の下に、常設の作業部会と時限のタスクフォースを設置し、研修会の実施や広報誌の発行など各種の活動を行う。

ウ 会議開催状況

第1回運営委員会 平成29年5月22日(月)

- ・平成29年度の事業計画及び協会運営にかかる諸課題の検討



- ・ JPCOAR 会員機関参加状況ほか

第 2 回運営委員会 平成 29 年 10 月 30 日(月)

- ・ 平成 29 年度の作業部会、タスクフォース中間報告
- ・ 平成 29 年度の会員参加状況及び会計見込み報告ほか

(11) 日本図書館協会代議員総会（施設会員）（名古屋市立大学）

ア 2017 年度第 1 回 日本図書館協会代議員総会

日 時：平成 29 年 6 月 16 日（金） 13：30～16：40

会 場：日本図書館協会研修室

議 事：議案

- ① 2017 年-2018 年度理事・監事の選出について
- ② 2016 年度事業報告案について
- ③ 2016 年度決算案について

報告

- ① 第 103 回全国図書館大会について
- ② 地域資料等の破損被害について
- ③ シンポジウム「図書館とまちづくり」について

イ 2017 年度第 2 回 日本図書館協会代議員総会

日 時：平成 30 年 3 月 23 日（金）

会 場：日本図書館協会研修室

議 事：未定

(12) 日本図書館協会大学図書館部会（首都大学東京、横浜市立大学）

ア 構成

【H29. 4. 1～H29. 7. 31】

部会長	西川博昭	筑波大学附属図書館長
施設会員委員	熊渕智行	東京大学附属図書館総務課長
	奥村小百合	筑波大学学術情報部情報企画課長（部会長館）
	浅見敏雄	横浜市立大学学術情報センター学術情報課長
	北村茂樹	首都大学東京学術情報基盤センター事務長
	本間知佐子	早稲田大学図書館総務課長
	松本和子	慶應義塾大学メディアセンター本部総務課長

個人会員委員	逸村 裕	筑波大学大学院図書館情報メディア系教授
	上村順一	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長
	小山憲司	中央大学文学部教授

【H29. 8. 1～現在】 ※平成 29 年 8 月 1 日付けで部会長館及び部会長交代

部会長	吉川 徹	首都大学東京学術情報基盤センター長
施設会員委員	熊淵智行	東京大学附属図書館総務課長
	奥村小百合	筑波大学学術情報部情報企画課長
	浅見敏雄	横浜市立大学学術情報センター学術情報課長
	北村茂樹	首都大学東京学術情報基盤センター事務長（部会長館）
	本間知佐子	早稲田大学図書館総務課長
	松本和子	慶應義塾大学メディアセンター本部総務課長
個人会員委員	逸村 裕	筑波大学大学院図書館情報メディア系教授
	上村順一	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長
	小山憲司	中央大学文学部教授

## イ 活動状況

### (ア) 事業

- a 第 103 回全国図書館大会東京大会への後援
  - 日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）9:00～12:00
  - 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
  - テーマ：「これからどうなる？図書館とオープンアクセス」
  
- b 平成 29 年度大学図書館シンポジウム（大学図書館研究集会）
  - 日時：平成 29 年 11 月 9 日（木）13:00～17:00
  - 場所：パシフィコ横浜アネックスホール 206
  - テーマ：「大学図書館と学内協働～活動の可能性を広げるために～」
  - 運営：国公立大学図書館協力委員会と共催
  - 備考：第 19 回図書館総合展フォーラムとして運営

### (イ) 会議等

- a 日本図書館協会大学図書館部会 2017 年度第 1 回部会委員会
  - 日時：平成 29 年 6 月 1 日（木）15:30～17:00

場所：日本図書館協会 503 会議室

(協議事項)

- ・ 大学図書館部会総会の開催に向けて
  - 大学図書館部会 議事次第 (案)、関連資料の確認
  - ①2016 年度大学図書館部会事業報告
  - ②2017 年度大学図書館部会事業計画 (案)
  - ③2017 年度大学図書館部会委員会委員 (個人会員) の選考について
  - ④2017 年度－2018 年度部会推薦理事候補者の推薦について

(報告事項)

- ・ 全国図書館大会への参加について

b 日本図書館協会大学図書館部会 2017 年度部会総会

日時：平成 29 年 6 月 16 日 (金) 10:00～11:00

場所：日本図書館協会 501 会議室

出席者 5 名、委任状 397 名

(報告事項)

- ・ 2016 年度大学図書館部会事業報告について

(協議事項)

- ・ 2017 年度大学図書館部会事業計画 (案)
- ・ 2017 年度大学図書館部会委員会委員 (個人会員) の選考について
- ・ 2017 年度－2018 年度部会推薦理事候補者の推薦について

(ウ) その他

a 大学図書館部会長、理事の交代 (平成 29 年 8 月 1 日付)

大学図書館部会長

退任：西川 博昭 (筑波大学附属図書館長)

新任：吉川 徹 (首都大学東京学術情報基盤センター長)

理事 (国公私より 1 名)

退任：岡部 幸祐 (筑波大学学術情報部長)

新任：町田 敦 (首都大学東京学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係長)

b 大学図書館部会選出代議員

植木 俊哉 (東北大学附属図書館長)

森 仁志 (名古屋大学附属図書館長)

引原 隆士 (京都大学附属図書館長)

三澤 哲也 (名古屋市立大学総合情報センター長)

山本 忠弘（名城大学附属図書館長）  
伊藤 一郎（東海大学図書館長）  
益山 新樹（大阪工業大学図書館長）

c 「日本図書館協会の設置する図書館の在り方検討会」委員の推薦  
荘司 雅之（早稲田大学図書館事務部長）

d 施設等会員選出代議員選挙（選挙区第2区：大学図書館）の代議員候補推薦

### (13) Web サイト運用チーム（首都大学東京）

#### ア 構成【H29.4.1～現在】

主査 荘司 雅之（早稲田大学図書館事務部長）  
委員 金藤 伴成（東京大学附属図書館）  
小嶋 静恵（首都大学東京図書館）  
水谷 伸司（名城大学附属図書館）  
事務局 長谷川 敦史（早稲田大学図書館）

#### イ 活動状況

(ア) 第82回国公立大学図書館協力委員会（平成29年7月28日）

##### 【活動報告】（抜粋）

#### a Web サイト運用チームの役割

- (a) サイトの改良及び改修に係る企画立案及び調整
- (b) Web サイト開発業者との連絡調整

※ 国公立委員長館事務局による JULIB ニュースの手入力以外、各協（議）会のニュース掲載はすべて自動化される。

※ Web サイトの保守管理については業者に委託する。

#### b 構成

##### (a) 主査

・1名（常任幹事館の持ち回りで担当）

・任期：8月1日～7月31日

（ただし、初年度については平成29年4月1日から平成30年7月31日まで）

・主査ローテーション：H29 私立（早稲田）→H30 国立（筑波）→H31 私立（慶應）→H32 国立（筑波）→H33 公立（大阪府立\*）

※ 公立の主査は、委員長館の持ち回りに入っていない常任幹事館が担当

(b) 委員

- ・国立1名、公立1名、私立1名（各協（議）会との連絡調整）。その他、主査の判断で必要に応じて追加する。事務局は、主査館に置く。
- ・任期：4月1日～3月31日

c その他

- ・更新担当：  
各委員会・ワーキンググループのページ → 各委員会  
その他のページ → 委員長館事務局  
ページの構成変更、新規ページ追加、機能変更 → 運用チーム
- ※ ただし、「大学図書館協力ニュース」のバックナンバーアップロードは、例外的に事務局（早稲田大学）が担当する。
- ・以下のIDで管理する  
システム管理者、Web サイト担当、著作権委員会担当、シンポジウム担当、委員長館、大学図書館研究事務局

(イ) 第83回国公立大学図書館協力委員会（平成29年12月8日）

【活動報告】（抜粋）

a URL 変更

[変更前]http://julib.jp/ → [変更後]https://julib.jp/

- ・よりセキュアな通信の為、https に切り替えた。
- ・変更前 (http) でアクセスした場合でも、自動的に変更後 (https) へリダイレクトされるが、明示的なリンクは修正して頂きたい。

b 正式公開

- ・12/1（金）を正式公開日とし、“β版”の表記を取る。

c 編集用のアカウントとパスワードの管理

- ・以下のアカウントを運用する。  
①管理者権限、②Web サイト運用チーム、③委員長館、④大学図書館著作権検討委員会、⑤シンポジウム企画・運営委員会、⑥大学図書館研究編集委員会
- ・現在設定しているパスワードは12/1に全て変更した上で、上記各担当へアカウントを周知する。
- ・今後は、年1回、7月の主査交代のタイミングでパスワードを変更する。

- d 「加盟館限定ページ」の運用
  - ・委員長館、または各専門委員会で、加盟館限定で公開したい資料を掲載する。
  - ・正式公開の通知と共に、国公私各協会・協議会を通じて「加盟館限定ページ」のアカウントを周知する。
  - ・アカウントとパスワードの周知はメールとし、書面での通知は行わない。
- e Web サイト運用チームの予算について
  - ・これまでどおり、チームとしての予算は付けず、常任幹事館の承認を経た上で、必要に応じて委員会の予備費から支出する。
  - ・ただし、あらかじめ支出が確定的な項目は委員会予算において費目化する。

(14) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議 SCOAP3 タスクフォース  
(横浜市立大学)

ア メンバー

主査	細川 聖二	(東京大学)
	新見 槇子	(東京大学)
	砂押 久雄	(東京工業大学)
	山本 一騎	(横浜市立大学)
	笹渕 洋子	(早稲田大学)
	山形 知実	(国立情報学研究所 (JUSTICE 事務局))
事務局	吉田 幸苗	(国立情報学研究所)
	服部 綾乃	(国立情報学研究所)

イ 設置経緯

2014年に開始されたSCOAP<sup>3</sup>フェーズ1期間(2014-2016)が終了し、現在フェーズ2期間(2017-2019)中であるが、2018年よりアメリカ物理学会(American Physical Society: APS)がSCOAP<sup>3</sup>に加わることが2017年4月末に決まった。これによりAPS刊行の3誌(Physical Review C、Physical Review D、Physical Review Letters)に掲載される高エネルギー物理学分野の学術論文は2018年1月からオープンアクセスとなり、同分野における約90%の論文のOA化が実現する。そこで、日本の大学図書館における具体的な対応を検討するために、フェーズ1、そしてフェーズ2準備時と同様にアドホックなタスクフォースを大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下に設置することとし、メール審議により、平成29(2017)年6月5日に設置が承認された。

ウ 目的

- ・ 拠出金額算定方法の決定
- ・ SCOAP<sup>3</sup>参加機関と拠出金額（機関別および全体）の確認

エ 活動状況

- ・ 第1回会合（平成29年7月4日）
- ・ 参加意向調査の予告通知（平成29年7月13日）
- ・ APSとの意見交換会（平成29年9月7日）
- ・ 進捗状況の報告（平成29年9月21日）
- ・ 参加意向調査の実施（平成29年11月6日）
- ・ 参加館に対して2018年分拠出額を通知（平成30年1月29日）

オ 参加意向調査の回答状況

(ア) 調査対象

APS購読機関（主に大学図書館）

(イ) 調査内容

SCOAP<sup>3</sup>への参加意思の有無及び、参加する場合のAPS拠出額

(ウ) 実施期間

平成29年11月6日（月）～12月4日（月）

(エ) 参加意向調査の回答状況（平成30年1月26日現在）

参加：60機関

検討中：8機関

不参加：61機関

カ 今後の予定

「検討中」と回答した機関の意向を確認し、CERNに参加機関を報告する。